

事業場構内（屋外）、駐車場での
転倒災害が多発しています！

積雪・凍結路面でのスリップ事故が
重篤な災害の原因となっています！



転倒災害 & 交通労働災害を 防止しよう!!



©わんこきょうだい

積雪・凍結に注意!!

冬季間は、積雪・凍結などによる転倒災害、交通労働災害が多く
発生していることから、これらの災害の防止に取り組みましょう。

岩手労働局・労働基準監督署

転倒災害防止のポイント

天気予報を確認する

大雪、冷え込み等が予想される場合等には、予め周知し、早めの対策を実施しましょう。



駐車場、通路等の除雪・融雪等を行う

駐車場内、駐車場から職場までの通路等、凍結しやすい場所は、除雪や融雪剤の散布を行いましょう。また、建物の出入口では転倒防止用マットを敷き、夜間は照明設備を設けて明るさ（照度）を確保しましょう。

履物は滑りにくいものを着用する

雪道を安全に歩くには履物選びが大切です。履物は、滑り止め材入り、ピン・金具付き・溝の深いもの等、防滑性（靴底が滑りにくいこと）に優れたものを着用しましょう。また、足のサイズに合った履物を選びましょう。



時間に余裕をもった行動を行う

悪天候により道路が混雑する場合、交通機関に遅れが生じる場合は、時間に余裕をもって移動するようにし、落ち着いて行動をするように心がけましょう。屋外では、小さな歩幅で靴の裏全体を付け、「急がず、ゆっくり」歩くようにしましょう。また、ポケットに手を入れたり、荷物などで両手がふさがっている時は、反射的に身を守れないため、手袋の着用、両手をふさがない工夫・作業方法の選択をしましょう。

転倒災害防止のための教育を行う

職場内の労働者が転倒の危険を感じた場所の情報を収集し、危険マップの作成、作業に適した履物、雪道や凍った路面上での歩き方等、安全教育を行いましょう。

※ 厚生労働省では転倒災害の現状からその対策まで、事業場での取り組みに役立つ情報を提供しています。

<厚生労働省 ホームページ> 「STOP! 転倒災害プロジェクト 2015」で検索

STOP! 転倒

検索

交通労働災害防止のポイント

積雪・凍結路面でのスリップは、路外逸脱による道路下や河川への転落、対向車線へのはみ出しによる対向車との正面衝突など、**重大な事故**につながりやすく**大変危険**です。

冬季は他の季節よりも**時間に余裕をもった運転開始や終了、走行経路**についての**走行計画を作成**しましょう。

運転者は**スリップを防止**するため、

- ・路面状況を把握し、適した速度（速度を控え目）で走行する
- ・カーブの手前で十分に減速する
- ・「急」のつく操作（急ブレーキ、急ハンドル、急加速）をしない

などに努めることが大切です。

また、走行中スリップしたことにより驚いて慌てて急ブレーキをかけたため、さらに大きくスリップするケースも多いので、**冷静かつ的確な操作**が求められます。

その他、①対向車等からの**視認性向上**のため、**早朝、夕方**など**早めのライト点灯**を行う、②交通事故発生情報、交通事故の危険を感じた事例（ヒヤリ・ハット事例）等に基づき、**交通安全情報マップを作成**し、**配布・掲示**などを行う、③あわてず、あせらず、**慎重な運転や行動**をとるよう**定期的に安全教育、安全運転訓練**を行うなども重要です。

積雪がない道路では
ブラックアイスバーン
に注意しましょう！

※ 交通労働災害について、詳しくは以下のホームページをご覧ください。

・交通労働災害を防止しましょう

「交通労働災害防止のためのガイドライン」のポイント

交通労働災害防止のためのガイドライン

検索

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/130912-01.html>

・職場のあんぜんサイト：交通労働災害の現状と防止対策

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/kotsutaisaku1505.html>

交通労働災害の現状と防止対策

検索